

# 第71号

学校法人 渡辺学園  
 発行 総務部総務課  
 〒173-8602 東京都板橋区加賀  
 1-18-1 電話(3961)5226

東京家政大学  
 東京家政大学大学院  
 東京家政大学短期大学部  
 附属女子高等学校・附属女子中学校  
 附属みどりヶ丘幼稚園

## 主な内容

- ・創立135周年をむかえて ..... 1面
- ・平成28年度あなたをバックアップする大学が変わります ..... 1面
- ・第5回渡邊辰五郎賞決定 ..... 2面
- ・渡辺学園の奨学金について ..... 2面
- ・学生記者企画 学生記者が学園の「気になる！」を紹介 ..... 3面
- ・活躍しています卒業生 ..... 4面
- ・「カロリー BENTO」第二弾が発売 ..... 4面

# Tokyo Kasei Press

## 学園新聞

### 平成28年度 あなたをバックアップする 大学が変わります

東京家政大学はここまでの10年余に渡り、「進路支援センター」が入口(入試)・出口(就職)を、「教育・学生支援センター」が教育・学生生活支援を担っていた部門は、「進路支援センター」の就職部門とともに新たに「学生支援センター」として組織されます。「進路支援センター」の入試部門は「アドミッションセンター」として入学前から入学までを担当します。狭山キャンパスは「狭山学務部」が学生生活や学修について、進路

東京家政大学はここまでの10年余に渡り、「進路支援センター」が入口(入試)・出口(就職)を、「教育・学生支援センター」が教育・学生生活支援を担っていた部門は、「進路支援センター」の就職部門とともに新たに「学生支援センター」として組織されます。「進路支援センター」の入試部門は「アドミッションセンター」として入学前から入学までを担当します。狭山キャンパスは「狭山学務部」が学生生活や学修について、進路

東京家政大学はここまでの10年余に渡り、「進路支援センター」が入口(入試)・出口(就職)を、「教育・学生支援センター」が教育・学生生活支援を担っていた部門は、「進路支援センター」の就職部門とともに新たに「学生支援センター」として組織されます。「進路支援センター」の入試部門は「アドミッションセンター」として入学前から入学までを担当します。狭山キャンパスは「狭山学務部」が学生生活や学修について、進路

東京家政大学はここまでの10年余に渡り、「進路支援センター」が入口(入試)・出口(就職)を、「教育・学生支援センター」が教育・学生生活支援を担っていた部門は、「進路支援センター」の就職部門とともに新たに「学生支援センター」として組織されます。「進路支援センター」の入試部門は「アドミッションセンター」として入学前から入学までを担当します。狭山キャンパスは「狭山学務部」が学生生活や学修について、進路



## 創立135周年を むかえて

学長 川合貞子

2016年渡辺学園は創立135周年をむかえます。1881年(明治14年)校祖渡邊辰五郎先生によって、新しい時代をつくるには女性が独り立ちし社会に貢献できることが重要との考えに基づいて「女性の自立自律」を願い創立されました。その「自立自律」を建学の精神として、女性の生き方と一生を支える専門職業人を育成し社会に輩出し、また「愛情・勤勉・聡明」を生活信条として、明るく堅実な校風のもと学園を築いてまいりました。

本郷湯島に「和洋裁縫伝習所」を開設以後、1946年板橋に移転し、1947年に渡辺女子中学校(現東京家政大学附属女子中学校)、翌年に渡辺学園女子高等学校(同高等学校)、1949年に東京家政大学、翌年東京家政大学短期大学部

2016年渡辺学園は創立135周年をむかえます。1881年(明治14年)校祖渡邊辰五郎先生によって、新しい時代をつくるには女性が独り立ちし社会に貢献できることが重要との考えに基づいて「女性の自立自律」を願い創立されました。その「自立自律」を建学の精神として、女性の生き方と一生を支える専門職業人を育成し社会に輩出し、また「愛情・勤勉・聡明」を生活信条として、明るく堅実な校風のもと学園を築いてまいりました。

本郷湯島に「和洋裁縫伝習所」を開設以後、1946年板橋に移転し、1947年に渡辺女子中学校(現東京家政大学附属女子中学校)、翌年に渡辺学園女子高等学校(同高等学校)、1949年に東京家政大学、翌年東京家政大学短期大学部

2016年渡辺学園は創立135周年をむかえます。1881年(明治14年)校祖渡邊辰五郎先生によって、新しい時代をつくるには女性が独り立ちし社会に貢献できることが重要との考えに基づいて「女性の自立自律」を願い創立されました。その「自立自律」を建学の精神として、女性の生き方と一生を支える専門職業人を育成し社会に輩出し、また「愛情・勤勉・聡明」を生活信条として、明るく堅実な校風のもと学園を築いてまいりました。

本郷湯島に「和洋裁縫伝習所」を開設以後、1946年板橋に移転し、1947年に渡辺女子中学校(現東京家政大学附属女子中学校)、翌年に渡辺学園女子高等学校(同高等学校)、1949年に東京家政大学、翌年東京家政大学短期大学部

2016年渡辺学園は創立135周年をむかえます。1881年(明治14年)校祖渡邊辰五郎先生によって、新しい時代をつくるには女性が独り立ちし社会に貢献できることが重要との考えに基づいて「女性の自立自律」を願い創立されました。その「自立自律」を建学の精神として、女性の生き方と一生を支える専門職業人を育成し社会に輩出し、また「愛情・勤勉・聡明」を生活信条として、明るく堅実な校風のもと学園を築いてまいりました。

本郷湯島に「和洋裁縫伝習所」を開設以後、1946年板橋に移転し、1947年に渡辺女子中学校(現東京家政大学附属女子中学校)、翌年に渡辺学園女子高等学校(同高等学校)、1949年に東京家政大学、翌年東京家政大学短期大学部

### 狭山学務部

平成26年4月狭山キャンパスに看護学部・子ども学部が開設され、それに伴い設置されたのが狭山学務部です。

狭山学務部は総務課と学務課があり、総務課はキャンパス内の警備・清掃・施設設備等の維持管理を担当しており、また、学生食堂やセミナー室のある狭山セミナー室の管理も行っています。

東京家政大学にそれぞれ目的を持って入ってきた学生の皆さんの学生生活や学修についての窓口が学務課にあります。履修や成績管理、学籍・免許資格等に関することや奨学金・正課外活動に関すること等を行っています。また、平成28年度からは進路・就職やそれに関するセミナー等に対応する窓口ができます。

学生生活を充実したものにするための環境の整備とそれぞれの目的を持った学生の目標達成に寄与するよう、また、その取組みに支援ができるように狭山学務部は体制を整えてまいります。

### 教育支援センター

教育支援センターには、学生の履修、成績、学籍管理及び学科事務などの業務を担う「学修支援課」と、教授会、教員人事、研究助成、各種調査や申請、第三者評価などの業務を担う「教育・研究支援課」の二つの課が設置されます。これは、従来大きな組織であった教育・学生支援センターをスリム化して、より学生が学修成果を獲得できるように、学修面を主とした業務を担っていく組織となります。この二つの課が連携して学修支援を行うことにより、今まで以上にきめ細

### キャリア支援課

「キャリア支援課」で行う業務は次のとおりです。

- ① キャリアセミナーや基礎力養成講座の実施、② インターンシップや各種セミナーなどのキャリア教育、③ 就職セミナー・個人面談や求人情報の提供、④ 編入・大学院進学情報の提供、⑤ 卒業生の就職などの支援も業務の一部です。

いずれの課も、主な業務は学生の人間関係形成能力の育成、勤労観・職業観の醸成、職務適性の自己理解など、自身の将来を切り開く支援へと繋がっています。

### アドミッションセンター

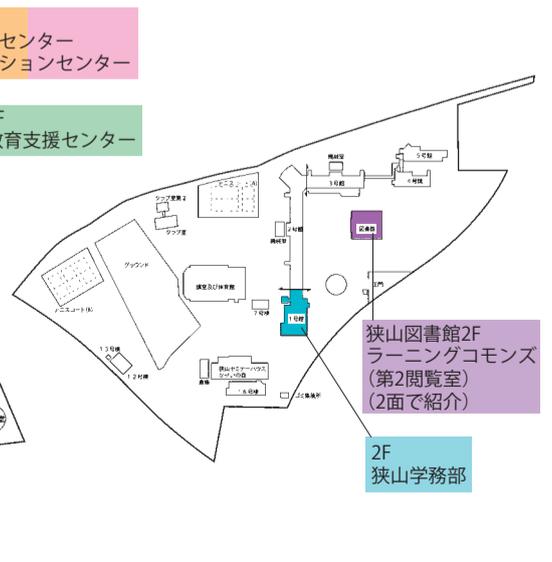
平成28年度より新たにアドミッションセンターを設け、従来にも増して、入学者受け入れ方針(アドミッション)、教育課程編成・実施方針(カリキュラム)、学位授与方針・キャリア支援(デュプロマ)の3ポリシーを明確にし、大学運営と教員、職員が理念を共有しながら「新しい時代にふさわしい高大連携と大学教育入学者選抜、社会貢献できる人材養成」のできる新体制となります。

特に入学者受け入れで

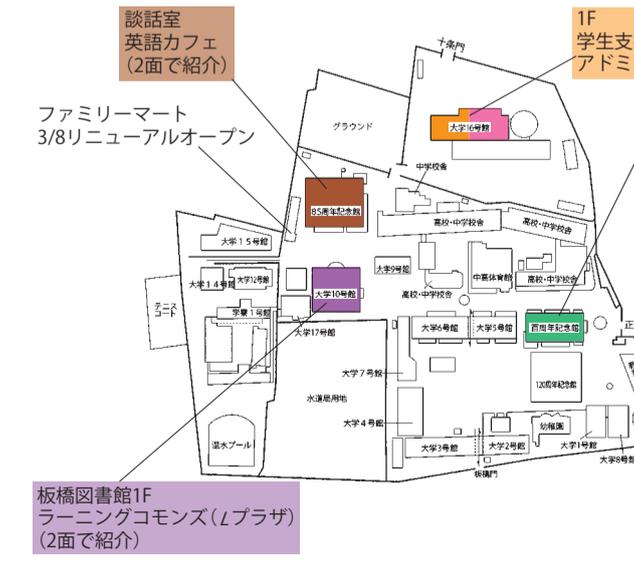
は、平成7年度より推薦入試において基礎学力を確認する「適性テスト」を導入し20年間実施してきましたが、「能力・意欲・適性を多面的・総合的に評価する」ことを目的に学長の下、新たに「アドミッション入学者選抜」を実施します。

本学の大学案内は受験生が大学進学及び就職を含む『女性の一生の生き方に役立つ』との評価が高く、全国一厚く内容の濃い冊子です。オープンキャンパス来場者も多く、2015大学ランキング(朝日新聞出版)データでも国公立私大中23位、平成7年度より推薦入試において基礎学力を確認する「適性テスト」を導入し20年間実施してきましたが、「能力・意欲・適性を多面的・総合的に評価する」ことを目的に学長の下、新たに「アドミッション入学者選抜」が加わることを契機に『東京家政大学に興味を持ち、本学の教育理念・学生育を理解し、東京家政大学を希望して来てくださる方』に学内が一丸となって、今まで以上に丁寧に向き合い、高等教育機関としての社会的使命を果たしていきます。

### 狭山キャンパス



### 板橋キャンパス



### 東京家政大学 ラーニング commons

#### 図書館にオープン!

大学図書館に新しい学びの場である「東京家政大学ラーニング commons」が誕生しました!

ラーニング commonsとは、学生が自由に集まり、図書館にある図書・雑誌とPCを通して得られる電子情報を用いてグループで議論をしながら主体的に学修を進めていく場のことです。

ここでは、ロッカーから簡単に取り出せるノートPCが備わっており、またグループの人数により自由な配置が可能な可動式机や椅子、話し合いの際に便利なホワイトボードや大型ディスプレイも用意されています。もちろん、機器や学術資料についての疑問には、

図書館司書がお手伝いします。板橋図書館では従来あった2階多目的室に加え、一階奥にモダンなLプラザがオープンしました。狭山図書館では入館して右奥の第2閲覧室がラーニング commonsとして改装されました。



Lプラザ



絵本コーナー

図書館司書がお手伝いします。

催しなど

板橋図書館では従来あった2階多目的室に加え、一階奥にモダンなLプラザがオープンしました。狭山図書館では入館して右奥の第2閲覧室がラーニング commonsとして改装されました。

また、教職員・学生が研究成果や活動報告をする場として「Kasei no Wa」を実施します。第1回「Kasei no Wa」は、左下の講演です。

狭山図書館



**Kasei no Wa 第1回講演**  
2016年5月12日(木)15:15 ~  
板橋図書館1F Lプラザ  
「版画芸術とファッション: ポショワールのファッションブック」  
服飾美術学科能澤慧子教授

### 東京家政大学の英語村! 『英語カフェ』誕生

#### パワーアップした キャンパス英会話

大学のグローバル化に伴い、家政大学の英語村『英語カフェ』がオープンします。85周年記念館談話室に新設されたこの教室では、キャンパス英会話のレッスンを実施します。

毎日40分×年100回、ネイティブの講師と『話す練習』を繰り返し、楽しく英会話力を身につけます。これまでの初級クラスに加え、中・上級クラスも増設



し、自分のレベルにあったレッスンを受けられるのが最大のポイント! 授業の合間やサークル、アルバイトの前など、自分の希望に合わせた時間を組めます。英会話の練習は、英語の勉強とは違います。本当に話せるようになりたければ、繰り返し声に出して慣れること、そして継続することが大切です。

キャンパス英会話のレッスンは、その日のトピックに合わせた会話フレーズを確認し、表現方法と発音、イントネーションを学ぶところから始まります。ゲームやロールプレイで実践練習を積み重ね、最終的には自分の気持ちを伝えるコミュニケーション能力を身につけます。



笑顔の絶えない教室

無料ガイダンスのお知らせ  
日程 4月13日(水)、18日(月)  
時間 ①12:20~13:00  
②14:50~15:30  
③16:30~17:10  
場所 85B 演習室(大学8号館5階)  
★3回とも同じ内容です。事前申し込み不要、途中入退場・昼食持込み可能なので、ぜひご参加ください!



1クラス8~12名の少人数制

『話して学ぶカリキュラム』は、英会話の練習は、英語の勉強とは違います。本当に話せるようになりたければ、繰り返し声に出して慣れること、そして継続することが大切です。

質問、お問い合わせは大学8号館1階 生涯学習センターまで。

### 第5回 渡邊辰五郎賞に林小春氏 渡邊辰五郎奨励賞に佐藤典子氏 贈賞式・記念講演会は5月5日に開催予定 関根里恵氏が決定

「渡邊辰五郎賞」は本学の建学の精神である「自主自律」に相応しく、社会での長年の活躍が評価され、貴重な貢献をした卒業生を称えるものです。また、「渡邊辰五郎奨励賞」は社会での活躍が著しく、今後の活躍が期待され、本学の榮譽を担う卒業生を称えるものです。

**渡邊辰五郎賞選考委員会**による厳正なる審査の結果、渡邊辰五郎賞に林小春氏(昭和47年短期大学部保育科卒)、渡邊辰五郎奨励賞に佐藤典子氏(昭和63年家政学部栄養学科栄養学専攻卒)と関根里恵氏(平成21年家政学部栄養学科管理栄養士専攻卒)が決定しました。贈賞式・記念講演会は5月5日(木)に開催予定です。

**渡邊辰五郎奨励賞**  
佐藤典子氏は、郡山市の大学で教職課程の教員として学生の教育に尽力している。また教員研修講座、消費生活講座・食育体験講座等の講師活動を通じて地域社会に貢献している。東京都消費生活センターをはじめ市町村主催の消費生活講座の講師活動や私立学校での理科授業の取組みが評価され、「第7回消費者教育実践表彰」優良賞を受賞された。関根里恵氏は、臨床経験を有する管理栄養士として種々の学会において理事・委員を務め、臨床栄養分野をリードし活躍している。病態を踏まえた栄養療法の啓発に取組み、医療の質の向上に貢献してきた。臨床研究では消化器外科周術期の栄養療法や糖尿病患者や高齢者の食事療法の効果の検証等を行いエビデンス構築に邁進している。

### 渡辺学園の奨学金について

本学学生の修学に資するための主な奨学金は、下記一覧のとおりです。緑窓会をはじめ篤志家の方々のご寄付により、基金としてその果実を給付しておりますのでご活用ください。詳細につきましては、「平成28年度学生便覧」をご参照ください。

奨学金名	内容	平成27年度採用者
渡辺学園奨学金	学園独自の基金による	大3年生 1名 大1年生 2名 短1年生 2名
遠藤奨学金	東京女子専門学校(現:東京家政大学) 大正13年卒業生 遠藤テイ氏の基金による	大1年生 2名
鶴田奨学金	東京女子専門学校(現:東京家政大学) 昭和11年卒業生 鶴田富美子氏の基金による	大1年生 1名
木曾山奨学金	東京女子専門学校(現:東京家政大学) 昭和12年卒業生 本学名誉教授 木曾山かね氏の基金による	短1年生 2名
土居奨学金	東京家政大学家政学部生活科学科 昭和38年卒業生 本学名誉教授 土居則子氏の基金による	大1年生 2名
橋口奨学金	東京家政大学文学部心理教育学科 本学名誉教授 橋口英俊氏の基金による	大1年生 2名
相原奨学金	東京女子専門学校(現:東京家政大学) 大正15年卒業生 相原久仁氏の基金による	大1年生 1名
青木奨学金	東京家政大学第2代学長 青木誠四郎氏の基金による	大1年生 1名
石川梅子(むめ)奨学金(服飾美術学科1名含む)	東京裁縫女学校(現:東京家政大学) 明治40年卒業生 石川梅子(むめ)氏のご息女 石川好子氏の基金による	大3年生 1名 大1年生 6名 短1年生 1名
齋藤奨学金(栄養学科・栄養科対象)	東京家政大学家政学部生活科学科 昭和31年卒業生 本学名誉教授 齋藤禮子氏の基金による	大1年生 1名
緑窓会奨学金	東京家政大学同窓会(緑窓会)の寄付金による	大1年生 11名 短1年生 2名
後援会奨学金(留学生1名含む)	東京家政大学・東京家政大学短期大学部後援会の寄付金による	各学年・学科・科・専攻 各1名(計53名)
三木奨学金(留学生対象)	東京女子専門学校(現:東京家政大学) 大正14年卒業生 本学名誉学長 三木テイ氏の基金による	大1年生 1名
松井・ト部奨学金(留学生対象)	東京女子専門学校(現:東京家政大学) 昭和19年裁縫家事科卒業生 本学名誉教授 松井正子氏、本学名誉教授 ト部澄子氏の基金による	大1年生 1名
高橋奨学金(主として留学生対象)	学校法人渡辺学園第4代理事長 高橋敬三氏の基金による	大1年生 1名
松井正子奨励金(大学4年生で本学大学院に進学予定の者対象)	東京女子専門学校(現:東京家政大学) 昭和19年裁縫家事科卒業生 本学名誉教授 松井正子氏の基金による	大4年生 1名
中地・阿部奨学金(児童学科3年・児童教育学科3年 保育科1年対象)	東京家政大学家政学部生活科学科 昭和28年卒業生 本学元教授 中地万里子氏、本学名誉教授 阿部明子氏の基金による	大3年生 3名 短1年生 1名
東京家政大学130周年記念特別奨学金(新入生対象)	東京家政大学同窓会(緑窓会)の寄付金による	大1年生 10名
新入生成績優秀者奨学金	学園独自の基金による	新入生 17名
在学学生特待生奨学金	学園独自の基金による	大4年生 19名 大3年生 19名 大2年生 21名 短2年生 3名

〈お問合せ〉学生支援センター (新入生成績優秀者奨学金のみアドミッションセンター)

### 学生記者企画 学生記者が 学園の “気になる!” を紹介

## 博物館へ インタビュー

東京家政大学の博物館は板橋キャンパス百周年記念館の4・5階にあり、常設展と春・秋に企画展が開催されています。3月に常設展がリニューアルし、ますます気になる博物館の裏側取材しました。

**企画展が開催されるまで**  
博物館は学芸員を中心として、館長を含め10名で運営しています。職員一人一人は日々の仕事の傍ら、それぞれの専門とする分野の研究を重ね、次回の展示に向けての想いを煮詰めています。企画展の準備はおよそ2年前から始まります。

まず担当者が決まり、テーマに沿って博物館に約2万点ある収蔵品を1点ごとにまとめた「資料カード」を用いながら、資料が展示に耐えうる状態か等チェックします。どの資料を用いるか、会場のレイアウト等も考えます。また、家政大の教育を紹介する内容も盛り込むように心掛けています。開催期間が近づくと、展示の図録作り、解説文の原稿作り、チラシやポスター等広告作りなどをほとんど手作りで作成しています。

**仕事でやりがいを感じる時**  
授業で来た学生や付き添いで来た方など博物館に興味のなかった方々にも「こんなに面白いとは思わなかった」「もっと知りたい」と満足していただけることは大きなやりがいにつながっています。職員の人数が少ない分忙しく大変なことも多いですが、一方で全体が見えやすく、企画展担当者はじめ職員の間を伝えたのか、という想いを明確にしやすくと感じます。資料の状態が悪かったり、地味なものをいかに見栄えよく見せるかといったところも腕の見せ所です。展示終了後の反省会は半日かかってしまうほど、真摯に、情熱をもって取り組んでいます。

**取材を終えて**  
私にとって、博物館は気になりながらも場所柄足が遠のいていた場所でしたが、今回取材をさせていただき本当に良かったです。お話を聞きながら、自然と博物館のことをもっと知りたいと思うようになっていきました。10分でも時間が空いたら是非立ち寄ってみてください。博物館を運営されている10名の方々の熱い想いの一端に触れることができると思います。

**家政大生へのメッセージ**  
大学の歴史をより分かりやすくお伝えするため、常設展がリニューアルしました。収蔵品は過去の学生達の学習してきた跡でもあり、100年以上続いている大学の知識が詰まっています。博物館が他の施設と大きく異なる点は、実物第一主義ということですが、本館だけではなく実物から得た知識は生涯身につきます。

**保健センター**  
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新生活はとも楽しい反面、思わぬ事も起こります。

**保健センター**  
新生活に慣れようと毎日頑張っていると、少し慣れしてきた連休明けの頃に、体や気持ちの不調を感じる人がいます。

**中学校・高等学校**  
公益財団法人 日本生態系協会が隔年で実施している「全国学校・園庭ビオトープコンクール2015」にて、附属中高のビオトープが「日本生態系協会賞」を受賞しました。今回で6回連続の受賞です。

**ビオトープ委員会のメンバーによるポスター発表**  
本校ビオトープは平成12年、中高の新校舎建設に伴って中庭につくられました。

以来、生徒や保護者、教職員の有志により引き継がれ、現在は中学生によるビオトープ委員会を中心として、維持・管理を行っています。都心と思わせない自然豊かな環境をこれからも生徒と一緒に守っていきましょう。

2月23日にお別れ遠足で、上野動物園に行ってきました。たくさん動物たちに出会い、目を輝かせていました。学年単位で園内を移動して色々な動物を見ていた中で、他のクラスの友達に会うと「おーい」と手を振って嬉しそうに声をかけている姿も見られました。アザラシが気持ちよさそうに泳ぐ姿に「じょうずー」と水の動きをじっくり見たり、大きなホッキョクグマがエサを追いかけて「ドボン！」と水の中に入っていく姿に「わおー！」と、その迫力に少し圧倒されながらも、嬉しそうに見入って歓声をあげていました。

昼食は、みんなで一緒に不忍池にいるカモを見ながら、お弁当を頂きました。外でおしゃべりをしながらいただくお弁当は、またひと味もふた味もおいしく感じました。

年長組にとっては幼稚園最後の遠足です。小さい組の友達と一緒にバスに乗り、クイズをしたり歌を歌ったりしながら行き帰りを過ごし、また、動物園では間近でたくさんの動物たちを見て、楽しい思い出が生まれました。幼稚園楽しかったね。みんなこれからも元気でね。そんな気持ちを存分に感じながら過ごす1日となりました。



## 食育に関する取り組み

ヒューマンライフ支援センターでは2002年の設立以来、子どもから大人まで幅広い世代を対象に、学生の手による食育活動を実施しています。主な内容としては地域等が行う食育イベントへの参加、近隣の教育機関との連携事業があります。



北区みんなが楽しむ食育フェア2016

ランテアとして参加した学生は、食育活動を行っている団体との交流もでき、食育について改めて学ぶことができました。

一方で、給食後には「ちゃんと食べたよ！」などの元気な声が聞こえました。

食育講義は2年生と5年生で実施し、どちらもゲームを取り入れた内容でした。学生ならではの「楽しむ」という観点からの食育の展開に、子ども達だけではなく先生方も夢中になって参加してくださり、さまざまな世代を巻き込んだ食育実践の場となっていました。

**五月病**  
新生活に慣れようと毎日頑張っていると、少し慣れしてきた連休明けの頃に、体や気持ちの不調を感じる人がいます。

**スマホとの付き合い方**  
近年スマホ依存症が増えています。使いすぎに注意して上手に活用しましょう。

**近な人に相談しましょう。**  
困った時は保健センターを訪ねてくださいね。

**親子でお買い物**  
「いらっしやいませ」「こんにちは」元気が飛ぶ声が聞こえます。昨年大盛況だったお店やさんごっこ。今年も保護者の方にも参加して頂き、親子で楽しめました。品物は2〜5歳児の子どもたちがアイデアを出し制作しました。子どもたちによる店舗に加え保護者の方による仮装コーナー、カフェなども開店。子どもたちがお小遣いを百円持ってお買い物です。4・5歳児は保護者の方と一緒に店員も担当し、責任をもって商品を販売しました。当日は保護者の手を引きお目当ての品物を指す乳児クラスの子や、おすすり商品を案内し、はりきって声掛けをする幼児クラスの姿が見られました。

1月24日(日)に開催された「北区みんなが楽しむ食育フェア2016」では、「食育おもちゃとあそぼう」をコンセプトに、五感を使って楽しむ4種類の食育ゲームを実施しました。子どもだけでなく大人も一緒に参加し、食に対する関心を高められた様子でした。ボ

北区立紅葉小学校とは昨年度から食育連携事業を行っており、今年度は給食活動の参加と食育講義を行いました。給食活動では、当日の献立に使用された食品に関する説明を行い、子ども達と一緒に給食をいただきます。手作りのポスターや実物などを使用した説明に子ども達は真剣に耳を傾け、「生きた教材」といわれる給食が学生によってより興味深いものになっていく



北区立紅葉小学校にて給食献立についての説明と食育講義

また、ツイッターやLINEなどSNS上でのトラブルも増えています。

**ひとりでお留守、家族や身近な人に相談しましょう。**  
困った時は保健センターを訪ねてくださいね。

**保護者主催のお店も大人気でした。みんなおしゃべりに変身します!**

「これください」「30円です」やりとりを楽しみに好きな絵を描きます。

「わあ! ほっきょくまだ!」

### 平成27年度 公認サークル学長表彰 (2/13開催)

- 【団体表彰】
- 👑太鼓サークル  
板橋消防署「ファイヤーフェスティバル」他
  - 👑競技ダンス部  
第52回 中・洋大学対抗競技ダンス大会 第2位 他
  - 👑ラクロス部  
第28回 関東学生ラクロスリーグ戦 4部Bブロック 第1位 他
  - 👑剣道部  
第16回 三大学女子剣道定期戦大会 優勝
  - 👑保育ボランティアサークル びっちな  
聖マリアンナ病院でのNICUのボランティア他
- 【個人表彰】
- 👑競技ダンス部  
第52回 中・洋大学対抗競技ダンス大会  
Sr.モダンの部 第2位 古都 茜 Sr.モダンの部 第5位 上田梨花  
Jr.クイックステップの部 第5位 板橋芳果  
第47回 天野杯争奪学生競技ダンス対抗戦  
Jr.ワルツの部 第5位 池部雛乃

### 平成27年度 各学校の卒業式・学位授与式・修了式

3月15日	中学校 第69期卒業生	102人 (10、150人)
	高等学校 第68期卒業生	327人 (26、177人)
3月18日	大学院修了生	22人 (587人)
	学部卒業生	1、242人 (38、641人)
	短大卒業生	226人 (50、884人)
3月21日	幼稚園 第63回修了児	30人 (2、082人)

\* ( ) は卒業生の累計

大学(看護学部・子ども学部)は4月3日に狭山キャンパスにて実施しました。大学院・大学(家政学部・人文学部)・短期大学部は4月4日に板橋キャンパスにて実施しました。中学校・高等学校は4月8日に、幼稚園は4月10日に実施しました。

### 活躍している卒業生

台東区の和やかな雰囲気の中、足を進めてみると白い大きな窓に青い屋根の「コートカフェ」が。オーナーであり、造形表現学科卒業生の椿ひとみさんにお話を伺いました。

コートではアパレルも販売していたことがあり、オリジナルの靴も売っていました。その靴を作る時のコツと物事を進めるという意味を込めて「コート」と名付けられました。そんなお店の前社長と椿さんの知人との繋がりから、カフェを盛り上げ、ウェブやブログの運営もできる人として、椿さんに声がかかりました。以前から自宅勤務を視野に入れ、友人知人が遊びに来られるようなギャラリーカフェを開きたいと考

えていたこともあり、コートの経営に携わるようになりまして。大切にしていること

カフェ運営において、居心地の良い雰囲気作りと使う素材を重要視しているコートでは、自家製のメニューが盛り沢山、優しさ溢れる味が体中に広がります。

▲右：椿ひとみさんとても気さくで明るくお話しくださいました

▼奥から時計回り：チキン グラシュー・カレー・オムライス

カフェだからこそ様々な可能性を秘めており、コートでは、小学生を対象にした美術教室、フリーマーケットの開催など、多岐にわたる試みを行っています。「やるからには楽しく」

### 素敵な空間作りに

そんな家政大での学びが、コートの様々な場所で作られています。ウェブページのレイアウトや手作り付け！落ち着いた空間を作り上げる中で、装飾だけでなく一つ一つの料理や小物もその役割を担っています。

▲右：椿さんとみさんとても気さくで明るくお話しくださいました

▲左：学生考案のレシピブック

▼新デザインの「カロリーBENTO」

昨年発売された本学と(株)ロフトとの産学連携による商品「カロリーBENTO」。栄養学科の学生が考案したレシピ付きのランチボックスで、お弁当箱としては異例の3か月で約3000個を販売する大ヒット商品となり、その成果から今春には新たなコンセプトのランチボックスが開発され、全国のロフトで発売されています。

今回のテーマは「時短レシピ」。ビューマンライフ支援センター登録学生88名の応募の中から栄養学科土屋京子教授を中心に行った書類審査で選出された30名のレシピが4つの容器に添付されています。バラエティに富んだレシピの数々をぜひご覧ください。

### 紹介・追加募集

学園新聞 TOKYO KASEI PRESSでは現在3名の学生記者が活躍しています。年3回の発行(4月・7月・1月)に向けて、取材・原稿作成・校正等が主な活動です。今回新たに2名の学生記者を追加募集します。興味のある方は板橋キャンパス総務課へお越しください。看護学部、子ども学部の学生も大歓迎です。

学生ならではの目線で、学園の魅力を伝えます!!

大4栄養 中村祐希  
大4育支 高澤千尋  
大4育支 猪又菜々美

U-ISS 成果報告会  
2月15日北区との協働事業 U-ISS (北区イメーJ戦略大学生協力員制度)の平成27年度成果報告会が本学にて開催され、「SNSを活用した情報発信」について発表が行われました。平成26年度の協働事業では区の魅力を発信する情報誌『北区でくらす』の企画・検討を行い、平成28年1月に区関係施設やJR・地下鉄の駅等で配布されました。

平成27年度 リサーチウィークス開催  
本学では教職員の研究活動の活性化と学生への教育の充実を目指すとともに、教員と職員が理解を深め、良い協力関係を築くことを目的として2・3月をリサーチウィークスと定めています。期間中はオープンニングレクチャー、FDフォーラム、ポスターセッションその他研究発表等公開発表の場を設定しています。

ライニングコモンズが完成  
3月1日板橋図書館に新しい学びの場所「東京家政大学ライニングコモンズ」が完成しオープンカットが行われました。(ライニングコモンズについての詳細は2面参照)

ライニングコモンズ  
PCCの取り出しは学生証です

集合写真  
中央左 花川與惣太 北区長  
中央右 川貞子 学長